合や称号段位級規則書　等

2）講話を通して剣道への意欲・関心・態度を高める。
「剣道理念」、「剣道修練の心構え」、「剣道指導の心構え」の理解を図るとともに対象者の資質を勘案し意欲・関心・態度などを高める。

3）実技指導展開方法の基本的な手順。
示範（指導者の模範）→説明（理解を深める）→実践（行わせる）
→評価(技術習得の講評)

4）過度の鍛錬主義にならない指導の展開。
指導を受ける者の練度や習熟過程を考慮しながら指導をする。

5）指導上あってはならない言動。
体罰、暴力指導、暴言指導、差別指導やハラスメント等に触れることのない指導展開をする。

Ⅱ．指導法

1　礼（礼法）について

1）礼の考え方

2）礼法（立礼・座礼・正座・座り方と立ち方）

3）基本動作（姿勢、構えと目付、構え方と納め方、足さばき、素振り、空間打突、掛け声、間合い、基本打突、切り返し　等）

2　鍔ぜり合いの方法

・正しい鍔ぜり合い姿勢・鍔ぜり合いの攻防・鍔ぜり合いの解消の仕方

3　体当たりの方法

・体当たりは、打突後の余勢で腰を中心にして当たる。

・受け方は、体をやや前に出しながら手元を下げて受ける。

4　打ち込み稽古・掛かり稽古の指導

※　打ち込み稽古は、元立ちが主体であり、掛かり稽古は、掛かり手が主体で行う。

5　区分稽古

例　切り返し→互格稽古→掛かり稽古（打ち込み稽古）→切り返し

6　正しい剣道用語の使用

Ⅲ．木刀による剣道基本技指導法

1　制定の趣旨等について

剣道の基本技術を習得させるため、「竹刀は日本刀」であるとの観念を基とし、木刀を使用して「刀法の原理・理合」「作法の模範」を理解させるとともに、適正な対人的技能を中心に技を精選し指導するものとした。

2　全体指導と対人指導　（基本１～９までの打突の仕方、打たせ方、受け方）

基本１　一本打ちの技…「正面」「小手」「胴（右胴)」「突き」
基本２　連続技（二・三段の技）…「小手一面」
基本３　払い技…「払い面（表)」
基本４　引き技…「引き胴（右胴)」
基本５　抜き技…「面抜き胴（右胴)」
基本６　すりあげ技…「小手すりあげ面（裏)」
基本７　出ばな技…「出ばな小手」
基本８　返し技…「返し胴（右胴)」
基本９　打ち落とし技…「胴（右胴）打ち落とし面」